



75周年を迎えて

第28代校長 齋藤 弘明

この度、実行委員会の皆様をはじめ、関係各位のお力添えをいただき、創立75周年記念式典を挙行し、この輝かしい記録を記念誌に書きとどめ発行することができますことを心より感謝申し上げます。

さて、本校は、昭和22年4月28日に芳賀郡清原村立清原中学校として創立され、新しい歴史の一步を踏み出しました。創立当初は、現在の清原中央小学校の横に併設されていましたが、昭和23年に今の場所に移転し、旧陸軍宇都宮飛行学校の敷地と校舎をそっくり受け継ぎました。その後、昭和29年に宇都宮市立清原中学校と改称し、76年の齢を重ね今日を迎えました。

学校創立後も校地・校舎の整備・拡張、学校及び教育的な環境の充実のために、多くの保護者や地域の方々及び学校関係者の献身的な努力により支えられ、現在に至っております。学校・保護者・地域が一体となった学校づくりを推進し続け、昭和46年度には全日本学校環境緑化コンクール特選（日本一）に輝きました。平成24年度にも全日本学校関係緑化コンクールで準特選を受賞するなど、本校のシンボルである緑豊かな環境は「清原の杜」の愛称として多くの方から親しまれています。

本校は、開校以来、校歌の一節にある「強き自律の人たらん」の下、清原の杜に囲まれた素晴らしい環境を生かした教育活動を展開してきました。今日まで17、850名の卒業生を輩出し、県内外だけでなく国外外の多方面で幅広く社会を支え、各分野で活躍し、素晴らしい功績を挙げていることは大変喜ばしく、本校の誇りでもあります。

さて、最近10数年間の本校の様子を見てみますと、生徒は、日頃の学習はもちろんですが、スポーツ・文化活動等に全力を傾け、多くの部活動で全国大会や関東大会に出場を果たし、全国に清原中の名を轟かせております。また、平成23年の東日本大震災の際には、被災した小学校の児童を本校に受け入れ、小中合同の生活を送るなど、清原地区の結束力や底力を見ることができました。

この輝かしい教育実践の下、校風や伝統の確立にご尽力いただきました歴代校長先生をはじめ、教職員、PTA関係者、同窓会関係者そして地域の皆様方に敬意と感謝を表したいと思います。

令和の時代となり、以前にも増して目まぐるしいスピードで情報が飛び交い、社会・文化・経済等簡単に国境を超えるようになりました。また、コロナ禍において実施されたGIGAスクール構想の実現は、1人1台端末を積極的に活用した個別最適な学びとなり、そのスピードは速まる一方です。

令和5年8月のLRT（次世代型路面電車・ライトライン）の全面開業に伴い、清原地区の新たな未来が動き出しました。生徒数も806名となり、宇都宮市内で一番大きい学校となりました。

現在、本校では生徒指標である「頑張る人」「考える人」「思いやりのある人」の具現化に向け、落ち着いた雰囲気の中で日々の様々な活動が展開されています。この清原地区に脈々と受け継がれている伝統をしっかりと受け止め、清原中生である自信と誇りを胸に、「チーム清原」一丸となって学校を盛り上げ、常に前を向いて一歩ずつ皆さんの力で本校を前進させていってほしいと思います。

本校に奉職する私たち教職員は、歴史と伝統のある本校に勤務できることに誇りをもち、100年目の清原中を見据えて「活力ある学校」「地域に誇れる学校」を目指し、これからの時代を切り拓くことのできる有為な人材の育成に全力を尽くしてまいります。今後とも本校生徒のよりよい成長のためにご協力をご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、創立75周年記念事業実施にあたり、多大なるご尽力をいただきました宇都宮市並びに宇都宮市教育委員会をはじめ、多くの方々に重ねて厚く御礼申し上げますとともに、本校の限りない発展を祈念いたしまして挨拶いたします。